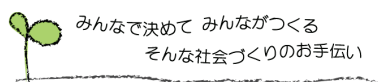


令和6年度「小さな拠点」づくり全国フォーラム

～中間支援組織を考える～

地域の課題を共有する 沖縄式地域円卓会議の実践 －参加の機会づくりと協働の推進－

NPO法人まちなか研究所わくわく 宮道喜一



宮道 喜一 みやじ・きいち

1978年神奈川県横浜市生まれ。1998年沖縄県へ、2004年より那覇市石嶺町在住。

2004年に「すべての人々が自ら暮らすまちを思い考え納得してつくっていけるような市民社会の実現」を目指し4人のメンバーとともに「NPO法人まちなか研究所わくわく」を設立。住民参加による住民主体の地域づくり活動、市民活動・NPO活動等の支援、様々な会議・話し合いの場づくりとファシリテーションを行う。

「話しあい」の場の企画・運営・進行等を中心とした、地域社会への「参加」に関する技術提供や市民活動・NPO活動支援、社会福祉協議会・民生委員協議会などの地域福祉の推進を担う機関・住民への支援を行う。

近年では、地域コーディネーター等の地域公共人材の育成や災害時の要援護者支援、地域福祉分野における地域づくりに関する調査・住民座談会の企画運営・地域計画策定支援・関係機関研修、民生委員活動に関する調査・研修・単位民児協支援などを担う。

－役職－

- 特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく 代表理事・事務局長（2024年6月まで副代表理事）
- 一般社団法人災害プラットフォームおきなわ 理事（2022年～現在）
- 一般社団法人FEEL Do 理事（2021年～現在）
- 地域情報誌「み～きゆるきゆる」 編集長（2004年～現在）
- マチグラー楽会 運営委員・事務局（2010年～現在）
- 那覇市石嶺小学校区まちづくり協議会・子ども育成部 部長（2018年5月～現在）

✉ miyajikiichi@gmail.com

facebook
宮道 喜一 (Kiichi Miyaji)

NPO法人まちなか研究所わくわく 使命と基本理念

【使命】 2004年設立（2005年2月法人認証）

すべての人々が、自ら暮らすまちを
想い、考え、納得してつくっていきけるような市民社会の実現

【合言葉】

みんなで「決めて」みんなが「つくる」そんな社会づくりのために、
まちわくは人と組織を「つなぎ」「話し合う」場と社会環境をつくりまします。

【基本理念】

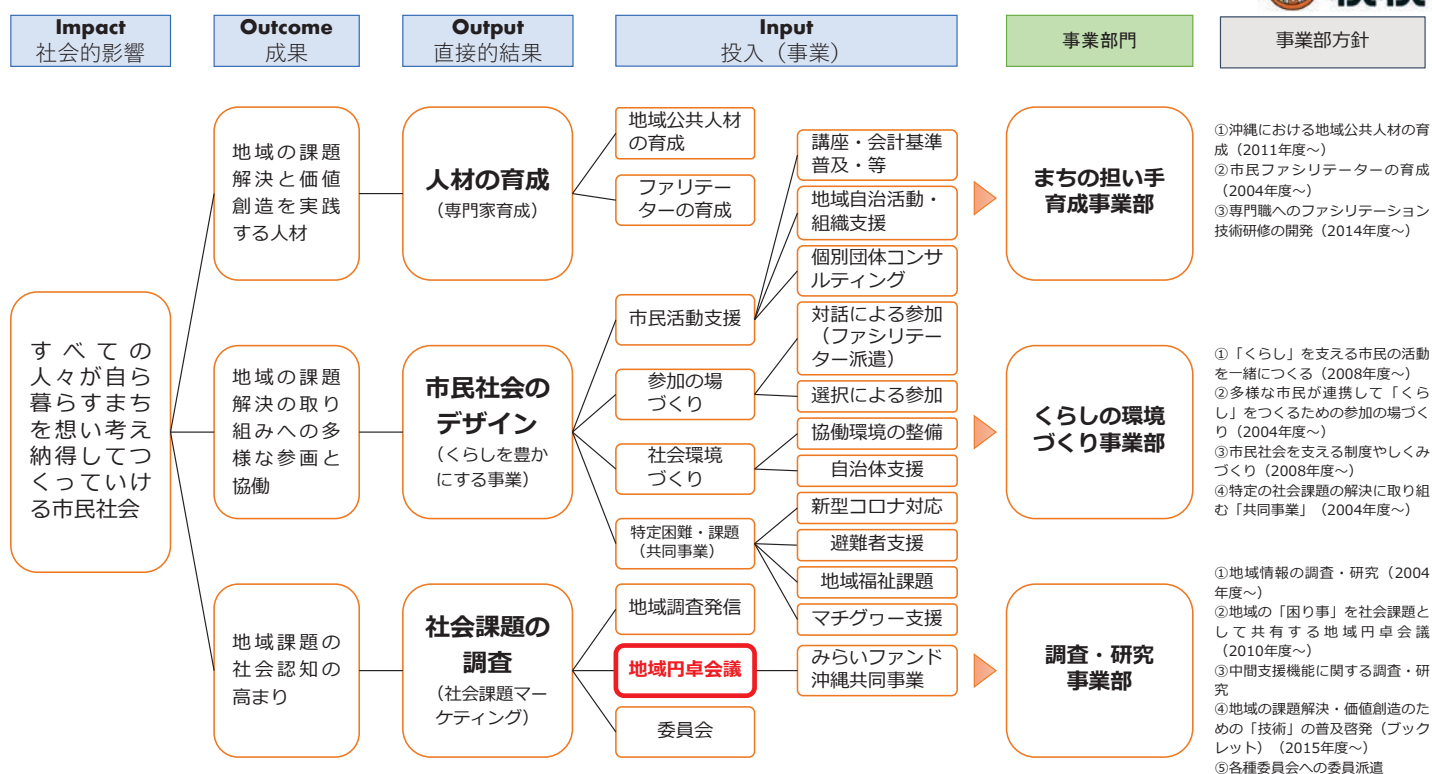
- みんなで決めてみんながつくるまちづくりの活動と活動サポート
- 市民公益活動を行う団体の活動サポートと市民社会のインフラ整備
- 参加型の場づくりの企画運営と人材育成
- 地域のNPOモデルとなるような継続的な市民活動の組織運営

今年度、
21期目となります

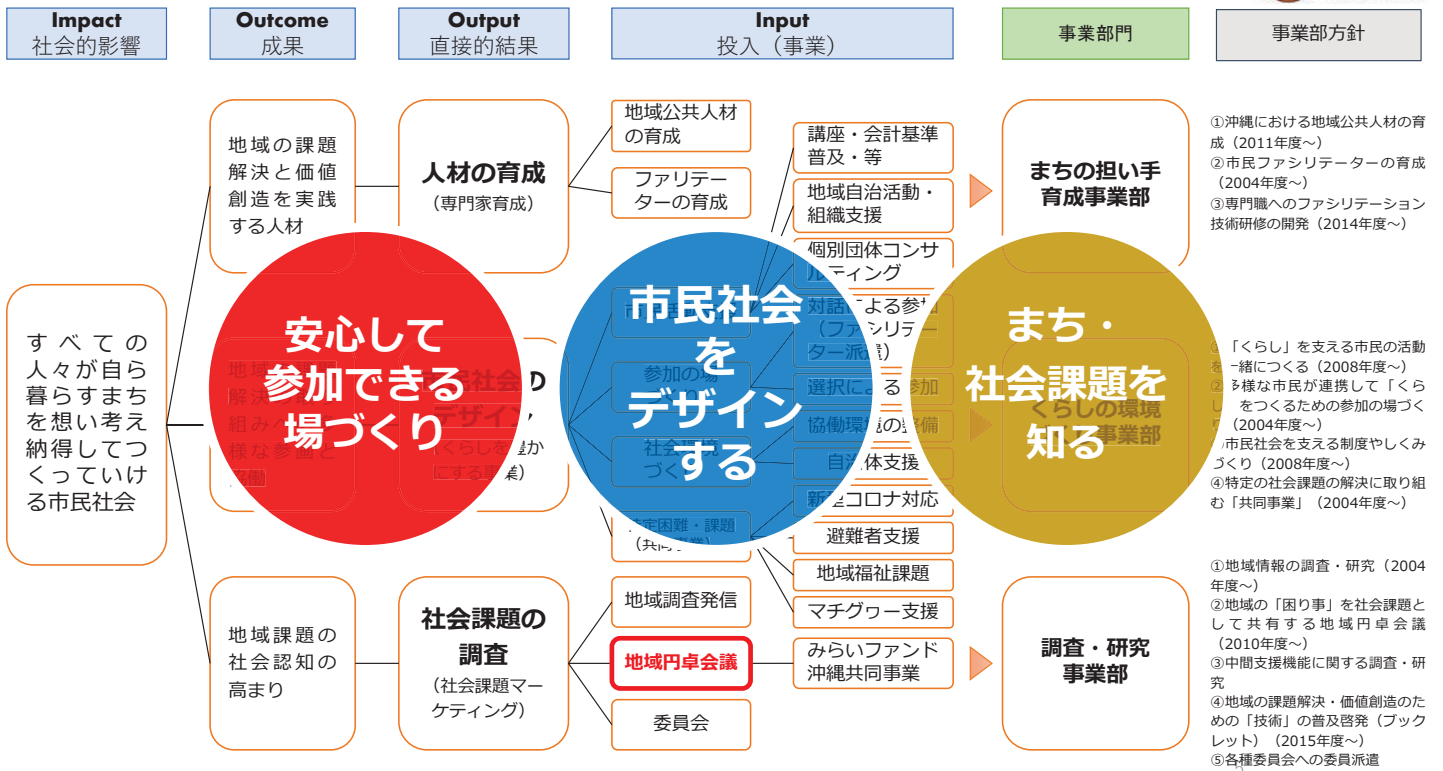


「参加」の場づくり
の技術者として、
地域課題に対して、
マルチステイクホル
ダー（多様な主体）
での解決に取り組み
ます

事業部門



事業部門



市民がかかわる場づくり-1 ワークショップの取り組み



▲久茂地公民館 (旧沖縄少年会館) の保存運動

市民の活動をワークショップ、ファシリテーションでサポート



▲久茂地小学校を存続させる会 (2013年)
 ⇒久茂地地域ビジョン「10年後への種まき」
 ⇒反対意見だけでない提案



▲久場川公園づくりワークショップ (2023年度)

市民がかかわる場づくり-2

市民が担い手 NPOの活動支援（中間支援）



◀那覇市
NPO活動支
援センター
の運営
(2008年～
2010年)



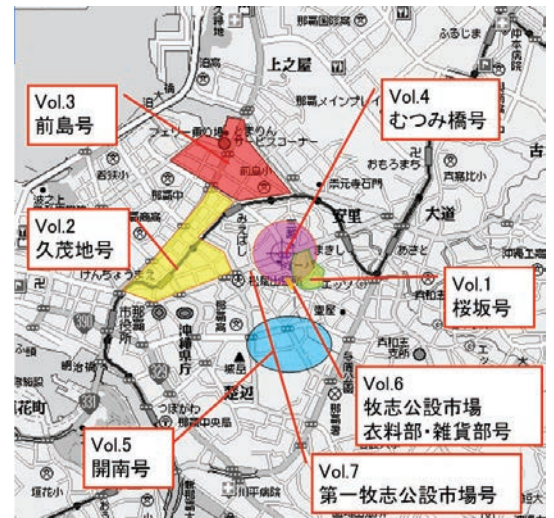
▲NPO出会い市 県内のNPO、中間支援が連
携して沖縄大で開催（2007年）

▶糸満市市民活
動支援セン
ターの運営
(2011年～
2017年)



市民がかかわる場づくり-3

まちに関心をもつ、市民調査



参加型地域情報誌「み～きゆるきゆる」
制作販売（2004年～）

令和6年度 第2回 「小さな拠点」づくりHub 沖縄県那覇市 開催

講師・ファシリテーター
公益財団法人みらいファンド沖縄
副代表理事・プログラムのコーディネーター
平良 斗星 氏
NPO法人まちなか研究所わくわく
代表理事・事務局長
宮道 喜一 氏

体験型セミナー
「小さな拠点」づくり推進に必要な
視点・知見の共有や参加者間の
ネットワーキングを行います！

参加費 無料
※旅費、那覇市会場までの交通費は自己負担

2025年 1月20日(月)～21日(火)
定員 30名程度
会場 那覇市第一牧志公設市場 3階多目的室 ほか
(沖縄県那覇市松原2丁目10-1 ゆいレール牧志駅から徒歩10分)
内容 プログラム概要は裏面参照
申込 専用フォーム(※切1月14日23:59)
<https://forms.office.com/r/g8fXmzhrQD>

小さな拠点・地域運営組織に関心のある方ならどなたでもご参加いただけます！

主催 内閣府地方創生推進事務局 (お問い合わせ先は裏面参照)

【開催主旨】
全国の様々な地域において、将来にわたって地域住民が暮らし続けることができるよう、必要な生活サービスの維持や地域における仕事・収入の確保に向けて、各地で「小さな拠点」の形成・運営が進められ、様々な取組が行われています。地方創生の一端として取り組まはじめてまもなく10年が経ちますが、導入に向けた検討をこれまでにならなされていく自治体が増えるとともに、この間に人口減少や高齢化によって取組が停滞する「小さな拠点」もみられます。

そこで今年度は、自治体や地域が第三者による支援を受けながら「小さな拠点」の形成と持続的な運営に向けて改めて取組を展開する方法に着目し、特に、地域住民のニーズや意見を把握したうえで住民の主体性を活かし、地域のビジョンや取組の計画を構築していく「はじめの一歩」の段階で、自治体・地域・中間支援者の各々が果たすべき役割と具体的な方法について学び合って実践につなげていくことを目的に、実践・取組の現場での研修会を開催いたします。

（プログラム）

1日目（会場は以下の予定の通り移動）

15:00 集合 @那覇市第一牧志公設市場3階多目的室
マテグワーミー

17:00 @那覇市第一牧志公設市場3階多目的室
ガイドランス・概要説明
・まちあるき：地域円卓会議のテーマ別現地

18:00 @那覇市ふんかテンプス館4階多目的ホール
沖縄式地域円卓会議現場体験
※終了後17:30に移動

21:00 終了（希望者はその後懇親会（会費別））

2日目 @那覇市職員厚生会 厚生会館 多目的ホール

9:30 円卓会議の企画のポイント
・前日の円卓会議の内容の振り返りと実施例に基づくポイントの解説

11:30 午前の部終了（休憩）

13:00 模擬円卓会議の企画
・テーブルワーク：自身のつくりに基づく企画
・提案の発表・まとめ

15:30 終了・解散

第3回 岡山県美咲町 2月6-7日
全国フォーラム(オンライン) 2月25日

令和6年度「小さな拠点」関連イベント今後の予定

若狭地域における自治活動の地域移行を考えた地域円卓会議
若狭地域に始まる中学校の音楽系自治活動の移行

【お問い合わせ先】
ランドブレイン株式会社 「小さな拠点」事務局 (担当：吉戸・神村・大森)
電話：03-3263-9388 (平日：10時～17時) kyoten@landbrains.co.jp

まちぐわーの 安心と安全を考える 地域円卓会議

参加無料

テーマ 新業態の店がつづくまちぐわーエリア、旧来からの店舗や地域住民ともハッピーに共生できる自治のあり方を考える

論点提供者
外間 有里 (那覇市議会議員・外間製菓所 3代目代表)

コロナ禍明け、いよいよ人流が戻って来る中、国際通りを含むまちぐわーエリアでは、飲食店をはじめとした、様々な業態が開業ラッシュを迎えています。その中には、これまでになかったタイプの店舗があり、地域の治安に不安感を与えるような業態も一部見受けられるようになりました。また、まちぐわーエリアの代替わりの中、まちづくりのプレイヤーとしてかつて機能してきた通り会活動、自治組織の活動の疲弊もあり、その不安に対する対応が難しくなっていることもあるのかもしれない。今回の円卓会議では、まちぐわーエリアで起こっていることを確認しながら、子どもやお年寄りやあらゆる来街者も快適に過ごせる中心市街地の新たなルールやモラルづくりや自治のあり方に関してみんなで議論したいところです。

2025年 1月20日(月) 18:00-20:50 (受付開始 17:30～)

会場 てんぷす那覇 4F テンプスホール (沖縄県那覇市牧志 3-2-10)

- 着席者数: 8名(論点提供者、司会、記録者含む)
- 参加者数: 38名(企業、自治会等地域組織、地域住民等)
- 主催: 那覇市議会議員 外間有里
- 協力: 公益財団法人みらいファンド沖縄、NPO法人まちなか研究所わくわく

タイムテーブル (予定)

18:00 オープニング・地域円卓会議について
18:10 論点提供
18:25 セッションⅠ
(兼 着席者紹介)
19:35 サブセッション
(3～4人グループで意見交換を行います)
20:05 セッションⅡ
20:35 ふりかえり・まとめ
20:50 円卓会議 終了

着席者

- ・矢野 弘子 氏 (牧志3丁目自治会 会長)
- ・津覇 綾子 氏 (津覇商店 店主)
- ・古謝 玄太 氏 (那覇市副市長)
- ・城間 陽介 氏 (沖縄タイムス 社会部 記者)
- ・新 雅史 氏 (流通科学大学 商学部 准教授)
- ・司会進行: 平良 斗星
(公益財団法人みらいファンド沖縄 副代表理事)
- ・記録者: 宮道 喜一
(NPO 法人まちなか研究所わくわく 代表理事 兼事務局長)

地域円卓会議で確認された今後の方向性

1. 情報共有と意見交換できる場づくり

通り会より細かいエリアでキーマンを特定し、キーマン同士が情報共有できる場を整備することが求められます。そのような情報共有の場に加えて、観光客を含めた来街者、商店主、住人、行政等の様々な関係者が、今後、まちぐわーがどうありたいかというビジョンづくりの議論を重ねる必要があります。

2. 過去の経験を活かした施策の実行

過去のまちぐわーでの取り組みを分析し、反省点を踏まえたうえで、時代に合ったアイデアとチャレンジが必要です。通り会の機能や那覇市の施策など、今あるリソースを見直しながら、喫緊の課題への優先順位をつけ、小さな成功事例を重ねていくことが求められます。その際、専門性を持ったアドバイザーや中間支援団体を効果的に活用し、関係者の思いを形にしていくことが重要です。

3. 来街者への情報発信

様々な関係者の議論をもとに、まちぐわー全体で共通の将来像を共有し、来街者へメッセージを出すことが必要です。情報発信することで、来てほしい客層へ呼びかけ、まちぐわーの過ごし方を提案することができます。

研修：2日目（2025.1.21）

会場 那覇市職員厚生会 厚生会館 多目的ホール

プログラム

- 9:30～（午前） 前日の地域円卓会議のふりかえり、地域円卓会議の開催プロセスとポイントの解説
- 13:00～（午後） 演習：参加者自身のもつ課題に基づく地域円卓会議のテーマ設定と着席者キャストイング

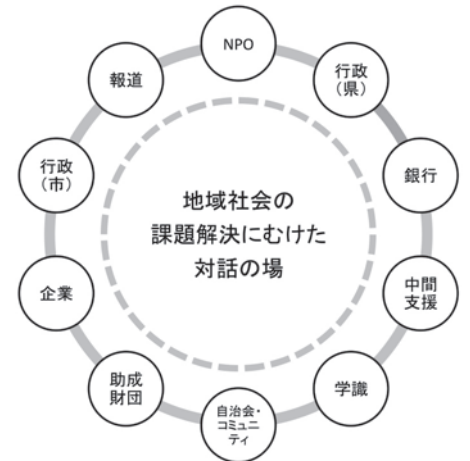


沖縄式地域円卓会議

顕在化した社会課題だけでなく、
社会課題化する前の”困りごと”を見つめます。



- ✓2010年より沖縄の市民コミュニティ財団である公益財団法人みらいファンド沖縄と共に、「地域の困りごとを社会課題として共有する手法」として開発
- ✓2011年2月の第1回開催から14年間で161回開催（2025年2月20日現在）
- ✓「地域円卓会議マネジメントの技法と実践」講座は、琉球大学で初級地域公共政策士資格における必修科目にもなっている



マルチステークホルダー・プロセス

活用の場面

- 「直面している困難は、自分だけの問題なのではないか？」そう考える人は少ない。しかし、そうした困りごとの中には、社会システムに原因があり、社会全体で受け止めることでしか解決できないものも多くある
- 円卓会議では、困りごとへの気づきを持つ方に「論点提供者」になっていただき、そのテーマに関係する方を「着席者」を円卓に招き、着席者の多様な視点で困りごとを解くほぐす対話をガイドする
- 円卓会議を経ることで、困りごとは社会課題として共有され、解決策を考案し動き出すスタートラインが見えてくる

円卓会議を
活用されて
きた方々

- 行政の事業を周知し住民参加意識を啓発したい行政の方々
- 困りごとを共有し仲間づくりをしたい個人やNPOの方々
- 研究を社会実装したい大学や学術機関の方々



これまで開催された地域円卓会議



2019.2.12 沖縄子どもの未来県民会議

子どもの貧困問題を教育と福祉が連携して解決するには？
～現場の取組から考える支援のあり方について～

@沖縄県立図書館

2013.2.1 沖縄ミーバイの販売及び
利用促進に関する円卓会議

**沖縄ミーバイをたくさんの人に
おいしく食べてもらうには？**

@沖縄県水産会館



これまで開催された地域円卓会議

161円卓会議

- 2024.8.28 認知症まちづくり地域円卓会議in北中城村@北中城村あやかりの杜
- 2024.10.12 【第2弾】若年性認知症に関する地域円卓会議@浦添市市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター ホール
- 2024.10.27 若狭地域における部活動の地域移行を考える@若狭公民館ホール
- 2024.11.7 渡名喜観光島づくり地域円卓会議@渡名喜村多目的活動施設
- 2024.11.13 子どもの体験保障を考える地域円卓会議@ヒルトン沖縄北谷リゾート
- 2024.11.17 持続可能な地域拠点を考える地域円卓会議@沖縄大学アネックス共創館
- 2024.12.5 沖縄市における自立支援のゴールを目指した食支援について考える地域円卓会議
@沖縄市社会福祉センター 2階ホール
- 2025.1.10 【第2弾】認知症まちづくり地域円卓会議in首里 @那覇市首里公民館
- 2025.1.20 まちぐわーの安心と安全を考える地域円卓会議@てんぶす那覇4F テンブスホール
- 2025.1.31 【第4弾】認知症まちづくり事後評価地域円卓会議@沖縄県総合福祉センター501会議室
- 2025.2.4 共同堆肥舎とローカルSDGsを考える地域円卓会議@うるマルシェ会議室
- 2025.2.8 社会を変えるお金の使い方を考える地域円卓会議@沖縄国際大学厚生会館4階ホール
- 2025.2.14 歴史文化遺産の保存・活用に関する地域円卓会議@うるマルシェ
- 2025.2.19 渡嘉敷村の観光と暮らしを考える地域円卓会議@渡嘉敷村中央公民館1階大ホール



「沖縄式」地域円卓会議のプログラム

2時間40分～3時間
プログラム

オリエンテーション

論点提供 論点提供者が困りごとを提示

セッション1 センターメンバーによる**事実・視点・評価・事例等の情報提供**
着席者から、それぞれの視点で困りごとの周囲にある事実（統計）、
視点・評価・事例を提示し、着席者間で共有

サブセッション **一般来場者も全員参加しての話し合い**
オーディエンスが小グループに分かれ、各グループに論点提供者と
着席者も参加して議論

セッション2 **課題の確認と解決に向けての座組や方向性の議論**
サブセッションでの議論の焦点を、全体に共有。着席者間で、困り
ごとの社会課題化や解決に向けての方向性を探る

**板書ふりかえり
・まとめ** 記録者が板書から議論を振り返り
司会者と論点提供者による総括コメント

終了



地域コミュニティ型地域円卓会議の例

2015.1.10 大里・嘉手志川から地域自治を考える地域円卓会議 @糸満市

テーマ：嘉手志川を地区内外の人に気持ちよく使ってもらうには

2015.7.31 那覇市 久茂地小学校跡のまちづくりを考える地域円卓会議 @那覇市

テーマ：1600人を収容する市民会館が久茂地小学校跡地にできたとき、この地域はどうなるのか？

2016.8.31 マチグワールのトイレ問題を考える地域円卓会議 @那覇市

テーマ：トイレはまちの資産 まちぐわールのトイレ最適化を考える

2022.7.9 首里地域の「お出かけ」に関わるくらしと交通を考える地域円卓会議 @那覇市首里

テーマ：首里城正殿復元まであと4年、今後首里地域で予想される渋滞問題や住民の移動の課題を、「移動とまちづくり」を中心に考える

2023.2.4 石嶺小学校区地域円卓会議 @那覇市石嶺公民館

テーマ：石嶺小学校区における高齢者の孤立問題とコミュニティのあり方を考える

2023.9.9 誰でも使える公民館あり方を考える地域円卓会議 @宜野湾市

テーマ：普天間第二小学校区内の自治公民館が、分け隔てなく誰でも使える地域活動の拠点となるには、どのような課題があるか考える

2022年度～ 認知症まちづくり地域円卓会議（11回）

2024.10.27 若狭地域における部活動の地域移行を考える @若狭公民館

テーマ：若狭地域で始める中学校の音楽系部活動の地域移行、まずスタートを切るために必要な条件を考える

2024.11.7 渡名喜観光島づくり地域円卓会議 @渡名喜村

テーマ：いよいよ始まる渡名喜村の観光島づくり計画。人口減少で空き家が増える最中（さなか）、渡名喜村の特色を活かした持続可能な島づくりをみんなで考える

2024.11.17 持続可能な地域拠点を考える地域円卓会議 @沖縄大学

テーマ：味噌でつなげる多世代型地域拠点「よりみん」。その活用・地域参画、そして事業の継続について考える

2025.1.20 まちぐわーの安心と安全を考える地域円卓会議 @てんぶす那覇4F テンプスホール

テーマ：新業態の出店がつづくまちぐわーエリア、旧来からの店舗や地域住民ともハッピーに共生できる自治のあり方を考える

2025.2.19 渡嘉敷村の観光と暮らしを考える地域円卓会議 @渡嘉敷村中央公民館

テーマ：持続可能な観光振興戦略が渡嘉敷村の暮らしにもたらす効果は？農業・漁業・教育・観光等様々な関係者と確認する現在地、そして未来

地域コミュニティ型地域円卓会議の例

2015.1.10
議 @糸満市
テーマ

2015.7.31
円卓会議 @
テーマ
とき、

2016.8.31
那覇市
テーマ
る

2022.7.9
える地域円卓
テーマ
渋滞問題
考える

2023.2.4
テーマ
のあり方

2023.9.9
@宜野湾市
テーマ
でも使え
考える

テーマ設定

- ✓ 「今、誰が、何に困っているのか？」
- ✓ 「社会で受け止められる言葉」に翻訳する作業
- ✓ 3時間の話し合いで食べられる大きさへ
- ✓ 入口は狭く、大きな議論へ

着席者キャスティング

- ✓ 資源分析、ステークホルダーのメリット分析
- ✓ 不足する資源とつながる機会
- ✓ 次の展開に向けたチームの座組みへ

回)
を考える@若
地域移行、ま
名喜村
計画。人口減少
を活かした持
卓会議@沖縄
ん」。その活
成円卓会議@
旧来からの店
方を考える
成円卓会議@
しにもたらず
確認する現在

地域コミュニティ型の地域円卓会議

一定の具体的なエリア内の課題を取り扱うことになるため、利害関係者が見えやすい一方、関係性が近いと、対話が感情的になりやすい



- テーマに関わる事実の共有をより丁寧に行い、課題を明らかにし、共有することで、連携・協働につながるネットワークの構築につなげる
- 限られた資源の中で、地域内の資源の可視化と地域外の資源とのつながりをつくる



石嶺小学校区 地域円卓会議

テーマ 石嶺小学校区における高齢者の孤立問題とコミュニティのあり方を考える

日時 2023年2月4日（土）14:30-17:10

場所 那覇市石嶺公民館 2階ホール

参加者83名 着席者 6名

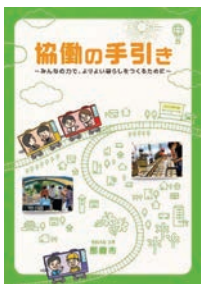
論点提供者 石嶺小学校区まちづくり協議会 会長

着席者 首里石嶺ハイツ自治会 会長、那覇市地域包括支援センター石嶺 センター長、那覇市社会福祉協議会 地域福祉課、櫻井常矢（高崎経済大学 地域政策学部 教授）、イチフジ株式会社 代表

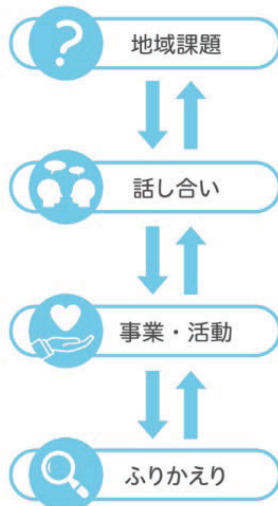
司会者 平良斗星（公益財団法人みらいファンド沖縄 副代表理事）

記録者 宮道喜一（NPO法人まちなか研究所わくわく 副代表理事・事務局長）

那覇市小学校区まちづくり協議会における 協働によるまちづくりと地域円卓会議に期待する2つの機能



プロセスとしての協働



石嶺小学校区地域円卓会議

校区内の住民や各種団体の
「参加」の機会づくり

困りごとを共有し
当事者性を高める

地域の暮らしをめぐる課題・困りごとを受け止める場・機会づくり。地域に暮らす人々が自分の考えや意見を自由に発言できる話し合いの場への参加（＝意見表明）を通じて、地域づくりの担い手を育てる

多様な主体による
「協働」の推進

資源を見つけて
つなぐ

地域の課題解決に向けて、自治会や既存の地域団体では解決できないことを補完する役割として、校区まち協は横のつながりをつくり、校区内外の団体や行政との協働を進める